

けいじばん

次回活動のご案内

11月29日(土)及び11月30日(日)、集合は森林館駐車場 AM 9:45。

- ・主な活動内容はコナラ林(今年度整備区域)の伐採・伐採木の処理等森林整備作業。
- ・本誌を以って活動案内とし「案内状」はありません。マイカー同乗者は運転者に必ず出欠連絡下さい。・トン汁を準備しますので各自マイカップ又はお碗をご持参下さい。
- ・2日目の昼食は会で準備します、実費4~500円。

懇親会&宿泊

(日時)11月29日(土)午後6時~(場所)国民宿舎「清和」(会費)約9,000円
懇親会のみ宿泊無しの場合約5,000円。

懇親会及び宿泊希望者は10月末までに事務担当真鍋宛連絡下さい。

活動計画書

添付の「活動計画書(叩き台)」は協定書に基づき県に提出する5ヵ年計画の坂本代表試案です。役員会協議の上11月上旬には提出します。10月末迄にご意見お寄せ下さい。

(前回活動欠席者には活動計画書案及び県作成の協定書案等の資料類を添付します)

地名募集

豊英島内の地名(愛称)募集中です。前回活動欠席者は添付「地名募集」をご覧下さい。

かつどうのきろく

10月11日(土曜日)晴曇

○参加会員15名、同伴者1名、県みどり推進課安積主幹、松本、小平顧問他3

1. きのこ狩り;今年の異常気象のせいできのこ生育不良のため、収穫少なく可食きのこは僅か。採取きのこを囲んで小平博士きのこ解説;

・ヒラタケ(食、美味、昼のきのこ汁の具)・ミネシメジ(食、あまりおいしくない)・ハナホウキタケ(弱毒、下痢、食べるという人もいるが推奨出来ない)・フサヒメホウキダケ(無毒、食とする図鑑あり)・ニガクリタケ(猛毒)・ドクベニタケ(毒、不食)・カクミノシメジ?(接触黒変、千葉ではあまり見かけず良く分からない)・ホウキタケの仲間(古い図鑑ではコガネホウキタケに良く似ているが最近の図鑑では異なる。多分食。茹でこぼし、一晩水にさらして小平博士食、美味)・テングダケの仲間(猛毒、つぼ、つぼがあるきのこ)・ベニタケの仲間(不食)・不明種(2~3種)・チチアワタケ(食、島外から持ち込み)
例年豊英島でこの時期に採取される主な種類・ウラベニホテイシメジ・アンズタケ・タマゴタケ・ナラタケ(豊英直売場で今年見かけた)

昼食;鈴木特製のいのしし鍋、真鍋作きのこ汁、研究センター加藤氏作きのこめしに満腹し、各自持参の弁当は殆ど手付かず。食後は長村式バイオマスコンロ?で茹でた豊英島産の栗と鴨川産ハーブティー。きのこが少ないせいか、かくし味の効き過ぎか、同じ味噌味のいのしし鍋との競合に負けたのか、きのこ汁は売れ残り。

2. コナラ林整備；落葉樹林内の細区分（巨木林区域、景観管理区域、コナラ林区域）を「管理目標図」別添1）で確認後今年の伐採区域決め約400㎡（注）杭打ち・ロープ張り。

コナラ林管理について小平室長解説（要旨）

○コナラ林は20年程度で伐採利用され切株から萌芽して世代交代（萌芽更新）。伐採の仕方及び林床の管理は農用林と薪炭林で少し異なり、落葉を農業に使う場合は落葉掻きがしやすいように林床をかなり綺麗にするが薪炭利用のみの場合はそれほど丁寧に管理しない。
 ○コナラの更新に必要な光環境をある程度確保するためには20㎡×20㎡程度の伐採が必要。従来のコナラ林管理では前述の理由で皆伐採したが今回は特徴ある木や林床のツツジ類等花の咲く木を少し残したい。森の現状を確認した上で残す木を決める。
 ○コナラは全て伐採、残す樹木はツツジ類・カエデ類・ヤマボウシ・エゴノキ等高木にならない花木や特徴ある樹木。その他の落葉樹及び常緑樹・針葉樹は全て伐採。
 * ツツジ類は相対照度35%以上で開花する。（伊藤）

以上の方針に従い全員で区画内樹木にマーキング

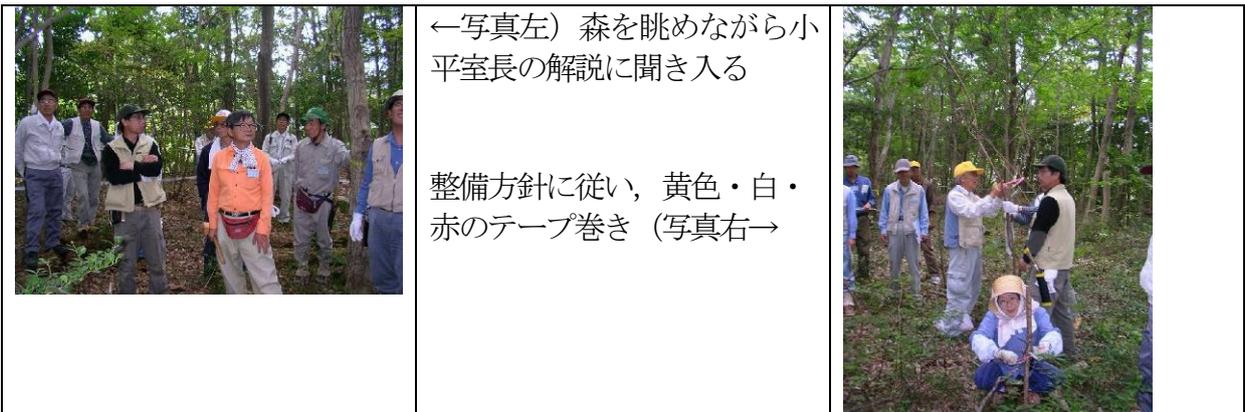
○黄テープ；コナラ伐採、29本、内径以上30cm（大）15本、30cm以下14本。

○白テープ；その他の伐採木、40本。

○赤テープ；保存樹木、25本、エンコウカエデ・エゴノキ・アズキナシ・ヤマボウシ・

ケヤキ・モミジ。ついでに区画内要保護林床植物、エビネ&シュンランに赤テープの杭。

*エンコウカエデ（猿口楓）は紅葉が綺麗なのでシンボルツリーとして中央に残したが、大木になるので他の木を伐採するとちょっとバランス悪く感じるかも知れない。



注）後日実測の結果上記区域決めした400㎡は600㎡あり、景観管理区域に侵入している事が判明したので、区画の修正を行う。この修正に伴いマーキング樹木本数も修正、修正結果は次回活動日にお知らせします。

3. 活動計画等

○県みどり推進課準備中の「千年の森づくり実施要領」案、「活動協定書」案及び「千年の森整備計画書」案紹介

○「協定書」に従い会から県に提出する今後5年間の「活動計画書」坂本試案が提案された。活動計画書の討議時間不足のため、会員の意見はメール・ハガキ等で坂本代表又は真鍋副代表に10月末迄に提出、役員会協議を経て11月上旬に提出のこととした。

○長村幹事より豊英島内の愛称募集（別紙「地名募集」）の提案、期限11月29日。

きのこには恵まれなかったが天候に恵まれ、
 今年着手するコナラ林の区域を決め樹木のマーキングをして
 いよいよ「森づくり」活動が始まったような実感